



## 研修紹介

## 心と体を育てる環境整備

今回は、園全体での環境整備を通して、子どもの健康な体と心を育てる取組を行っている温品幼稚園を紹介します。今回の環境整備のポイントは、①様々な運動の経験②視覚的支援③振り返りの場です。これらは、どの校種においても、保育・授業改善や指導を行う際には、大切にしてほしいことです。来年度からの取組の参考にしてください。

本実践は、研修第1日の安田女子短期大学教授の柿岡玲子先生の講義をふまえ、環境整備の際に「一斉形態の保育指導より自ら選ぶ好きな遊び中心」「園庭を広く使う」などに留意して、温品幼稚園の中前教諭を中心に、遊びを通して心と体を育てる保育として行われました。

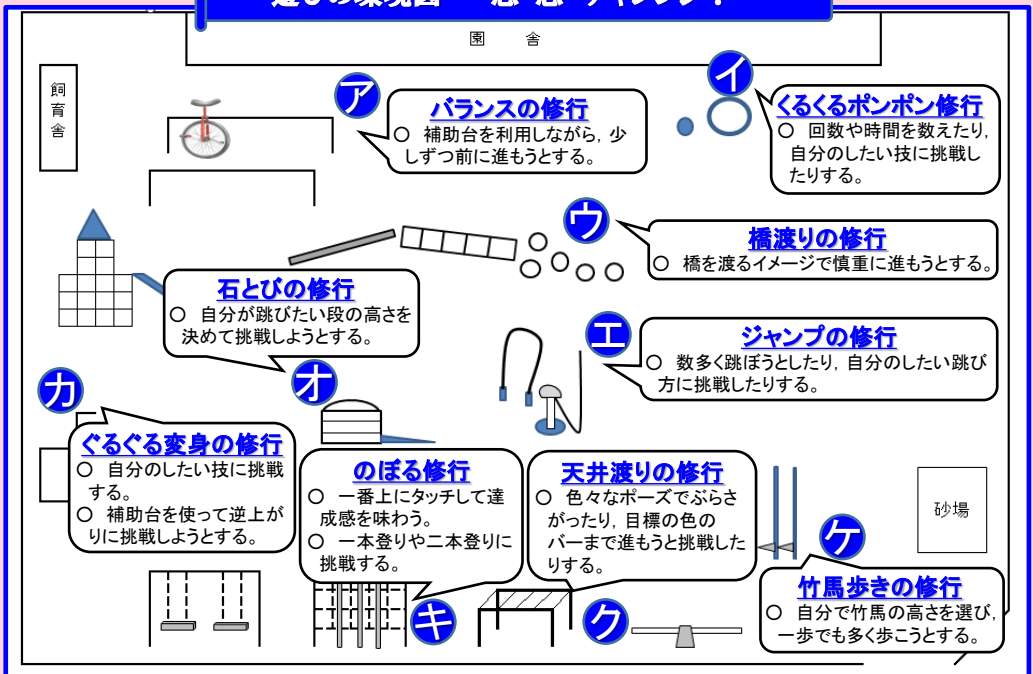
### ①様々な運動の経験

子どもたちが様々な運動を経験できるような環境を整備する。

9種類の修行の場を設定し、様々な運動ができるようにしています。園児は、自分の興味関心のある修行を選び、挑戦することができます。使用した遊具は、以下の通りです。

- ア:一輪車・バランスカー
- イ:ボール・フープ
- ウ:平均台・はしご
- エ:ケンパステップ
- エ:長縄・短縄
- オ:跳び箱
- カ:鉄棒
- キ:のぼり棒
- ク:雲てい
- ケ:竹馬

### 遊びの環境図 ～忍・忍 チャレンジ！～



### ②視覚的支援



「ふらふらぶ35回まわせたよ」  
「いちりんしゃ6かいできた」  
「なわとびで47かいできた」

### 自分のできたことが実感できるような視覚的支援を行う。

人との比較ではなく、自分のできたことや頑張ったことなど、園児が達成感をもったときに、付箋に記入し、忍者城に貼ります。付箋を見ることで、自分のできたことや頑張りとともに、友達の頑張りも分かるようになっていきます。

### ③振り返りの場



「はじめて、一輪車に乗れた！」  
「〇〇くんが竹馬をがんばっていたよ。」

### 友達のよさや、頑張っていたことを発表し合う振り返りの場を設定する。

自分のできたこと、友達のよさや頑張っていたことをお互いに発表し、園児・教員みんなで、共有し合う振り返りの場を設定しています。

#### <中前教諭のコメント>

子ども達の興味・関心を受け止めたり、意欲を引き出したりすることを大切に援助・環境準備をしてきました。今後も、子ども達が自ら遊ぶ中で、様々な体を動かすことのできる保育の工夫に努めていきたいと思っています。

#### <研修担当者のコメント>

園庭全体を「忍者の修業の場」として環境を整備されたことにより、子ども達は忍者になりきって意欲的に活動することができました。また、「修行」という言葉から、「できるようになろう。」という思いを持つことができました。

その中で、自分ができるようになったことを記録したり、子ども達同士で友達の頑張りを発表したりすることで達成の喜びや次への意欲を持つことができました。

上記のような遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのスタートカリキュラムの取組が始まっています。「接続カリキュラム作成に係る参考資料」は、C4th書庫に掲載されています(5教育活動→2小学校)。参考にしてください。また、乳幼児教育保育支援センターからも幼稚園・保育園等と小学校の接続に向けた連携ポイントをまとめた『**幼保小接続に向けた手引**』が4月に示される予定です。

**<お知らせ>** ミニレターは、平成26年度から6年間、研修や学校の取組等を紹介してきました。今後はさらに、タイムリーな情報提供を目指し、センターWebページの充実を図ることとし、ミニレターは本号をもって終了いたします。これまで配信したミニレターは、Webページに掲載していますので、引き続き活用してください。